

これまでの努力を信じ、仲間を信じ、 自分を信じて、頑張り抜いた中体連



定期テストが終わり、夏休みの計画へ 自主学習の方法を変えてみませんか？

六月末のこの時期は、中体連もひと息つき、第一回の定期テストも終わりました。もうすぐやってくる夏休みに向けて、気持ちも上向きになる、そんな時期ではないでしょうか。その一瞬、二年生は夏休み明けに控えた学習旅行に向け、更にテンションが上がり、三年生は、そんな浮ついた気持ちではいられない、今年度は受験にむかう年。体験入学に受験勉強、やること山積み、夏休みにも「頭の中は飽和状態」かも知れません。さて、夏休みと言えは「宿題」が、そして「生活リズム」が崩れがち、ということも計画を立て、なんとかそれを乗り切ろうとします。しかし、人生そんなに型にはまればありません。こうして、時間をかけて立てた計画は、早い段階で崩壊し、そこから、ななし崩しの生活が始まり、気がつくといわぬ間に夏休みも残りわずかという事態に陥るわけですね。そんな状況を避けるためにも、計画は、多少ゆとりを持たせて、想定外の事が起きても、柔軟に対応し、軌道修正ができるものにしておきたいポイントです。ここで、小原田中生に提案です。夏休みにもつぎの、自主学習の方法を変えてみませんか？

宿題や課題など、ノルマが課せられているものとは違ひ、自学は、自分でやる内容を決めることができます。そこで効率よく学ぶための提案です。「自学は、手の届く範囲の『できない・わからない』を無くす事を目的とする。」という事です。今回行った定期テストや、授業で使っているワークブックなど、正解した部分には時間をかけず、間違えた部分、わからないう部分に時間をかけて、取り組み「できない・わからない」を無くしていきます。先生や友達に聞いたり、スラスラで何度も説明をみた方法でいいと思います。新しい事を学び進めて行くには、時間と労力が必要ですが、答え合わせの終わったテスト問題やワークの問題なら、早い段階で「できない・わからない」を無くしておけば、それほど苦労力にはならないと思います。ポイントは、「先生や友達に頼つてもいい」ということ。最後は、頼らずに一人でできるようにするということです。まずは、手の届く範囲のことから「わからない」状態になれば、その先も見えてきます。答案が戻された今が自分を変えるチャンスです。

タブレットを活用し、令和の自学へ

みんなの応援大きな力に！



今月は、六月四日（火）、五日（水）に市中体連総合大会、十八日（火）、十九日（水）に県中地区中体連総合大会が行われ、各競技で小原田中生の活躍が見られました。三年生にとっては中学校部活動の集大成ともなる最後の中体連、二年生にとっては、主力に混じって大会に臨む力が入る中体連、一年生にとっては初めて目にする中体連と、それぞれの想いを抱いて臨む中体連となりました。その背中を後押しし、気持ちを支えた壮行会が、今回もまた行われました。ユニフォームを身にまとい、小原田中の名を背負って、力の限り試合に臨む決意を表す子どもたち。

初戦の対戦相手はもうわかっていました。相性の良い相手、厳しい戦いとなりそうな相手、子どもたちの心は素直に反応します。そんな選手をぐるっと囲んで、「声が小さい！」と喝を入れる応援団。「自分たちにかかて」と言わんばかりに、選手を奮い立たせる応援が続きます。そんな応援に勇気ももらい、いつしか弱気が薄れていく選手たち。大会会場では、控えの選手や応援の後輩たちの、大きな声援を送る姿が、随所に見られました。県大会へと駒を進めた部、力及ばずピリオドを打った部。いずれも子どもたちの表情はやり終えたあとの清々しいものでした。

中体連総合大会

令和6年6月号
郡山市立小原田中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0720007>

